2021年11月6日　インド大使館　バガヴァッド・ギーター

・朗誦：第10章21～30節

・引用：第18章－20節、21節、22節、第13章－17節

おはようございます。みなさんお元気ですか？

（参加者）元気です。マハーラージはお元気ですか？

神様のおかげで、皆さんの祈りで、皆さんのサポートで、体の車は動いてストップしていないです。

**蝋人形**

1993年11月私は日本に来てから今月11月で28年になり、その間いろいろな出来事あり、1996年ヨーロッパに行きました。スワーミー・ヴィヴェーカナンダは1896年に最初アメリカに行き、そしてヨーロッパに行ったので100年のお祝いの会議がドイツであり参加するために行きました。そのときにいろいろイギリス、フランス、ドイツ、スイスに行きイギリスの蝋人形館にも行きました。参加者の中にロンドンの蝋人形館に行ったことありますか？

（参加者）あります。日本にも東京タワーに蝋人形館あります。

生きているような蝋人形チャーリーチャップリン、ヒットラー、ガンジーみんな本当に生きているように見えます。

その中に、お客様が疲れると座る椅子がありますが、私は疲れたので、椅子に座ってずっと動かないでいました。その後、となりに若い女性が座りましたが、私が突然動いたら、その女性が声をあげて怖がりました。そのくらい完璧に蝋人形は生きているようにみえます。

チャーリーチャップリンが見える、ヒットラーが見える、ガンジーが見える－でも本当はなんですか？中に何がありますか？全部「蝋」です。

**砂糖の人形**

「ジャナカ」の名前、皆さん聞いたことありますか？王様というだけでなく聖者です。ラージャ・リシ、悟った人です。本当は戦士のカーストの人ですけど、上のカーストでブラーミンの人も、ブラフマンのことを勉強したいならジャナカの場所に来て勉強しました。

皆さん、シュカ・デーヴァの名前も知っていますね？ブラフマーナ・リシ、ブラフマンのことを知っている一番高いレベルの聖者です。

ラーマクリシュナは時々、ヴィヴェーカーナンダをシュカ・デーヴァと呼んでいましたが、スワミー・ヴィヴェーカナンダとシュカ・デーヴァは一緒の高いレベルの人です。

ある時、シュカ・デーヴァはジャナカのところに行き、ブラフマンのことを勉強したいと言いました。もちろんシュカ・デーヴァは生まれてからブラフマンのこと知っている悟った人ですが、ブラフマンの知識が正しいか正しくないか確認したいと思いました。ラーマクリシュナも悟った後に、聖典に書いてあることが正しいか正しくないか確認しました。

シュカ・デーヴァのお父さんのヴィヤーサ・デーヴァも教えましたが、最後にシュカ・デーヴァはジャナカのところに行きました。お父さんから勉強したことが本当に正しいか正しくないかを知るためにです。

ジャナカの場所に着いたらジャナカは言いました。「シュカ、街に行って散歩して、いろいろ見てください。」

シュカ・デーヴァが戻ると「あなたはなにを見ましたか」とジャナカは尋ねました。シュカ・デーヴァの答えはとても面白い答えでした。

「砂糖で作った人形が、別の砂糖の人形に話してます。執着と嫌悪をもって、関係を作って話してます。」

ですけれども、両方とも砂糖の人形です。ある人は好き、ある人は嫌い、人間関係は好き嫌い、そうではないですか？この例は、両方が砂糖の人形です。

ジャナカ「今、あなたは何を見ていますか？」

シュカ「ある砂糖の人形は、別の砂糖の人形に質問しています。別の砂糖の人形は答えています。」

ジャナカも砂糖の人形、シュカも砂糖の人形です。

私は2つの例を使いました。最初の例は「蝋で作ったもの」。今の例は「砂糖で作ったもの」。メッセージはなんですか？名前、形は別々に見えますけど、あるときすべては砂糖ですけど、あるとき蝋です。

メッセージはなんですか？この例の結論はなんですか？

（参加者）すべてはブラフマン

勉強している言葉を使ってください。

（参加者）アヴィバクタム

すべてはアヴィバクタム(Avibhaktam)です。１つのものが、ある時は蝋、ある時は砂糖というように、別々のもの、ヴィバクタム(Vibhaktam)に見えるだけです。（13章-17節）

本当は別々ではない、見えるだけです。例えば砂漠の中に蜃気楼、本当は水はないです。

青梅リトリートで話がありました「seeing & beliving 見るものと信じるもの」を、とてもよく理解してください。

見えるものは、包括的な意味で観察しているもの、眼だけでなく観察しているものです。

この「見えるもの Seeing」と「信じるもの Brlieving」、いつも一緒ですか？

私はあなた見ている、あなたは本当に居ますか？

「信じるもの」の意味は、正しいか正しくないか、実在か実在じゃないか、本当に見ているものは正しいから信じていますが、中に１つステップがあります。ステップが正しいか正しくないか見ています。本当に正しいか？それを考えて私たちは信じています。

いつもそうですか？この例は正しいですか？

例えば、インド大使館で話しています、信じてます。同じ見ているものは正しいですか？正しくないですか？

**科学者の言うことは信じる**

科学者はいつもそんな感じで調べて検査して、見ているものが本当に正しいか正しくないか、その質問が源です。

例えば、普通我々は何を見ていますか？

新幹線で行く時、我々は座って新幹線は動いていないですが、いっぱい木、建物が一生懸命走っています。私は同じ場所にいますけれど本当は反対、新幹線が走っていて木は走ることも歩くことも無理、建物もそうです。

新幹線は毎日乗っていないですが、他の例もあります。

毎日毎日見ているのが、朝太陽が出ています、現れています。太陽は東から出て西に沈みます。その結論はなんですか？地球は動いていないで、太陽は動いていて、太陽は地球を回っています。目で毎日そう見ていますけれど正しいですか？

昔はみんなそう信じていましたが、科学者はいろいろ計算して調べた結果、結論は反対です。

地球は太陽を回っています。我々の経験と科学者の結論は、時々全然違います。眼で、感覚で見ていますけれど本当はそうではない。

科学者は、結論や説明をいろいろ言っていますが、インフォメーションだけで、計算は複雑でデモができます。デモは本当のものでない、我々の経験は反対ですけれでも、科学者のことを我々は信じています。

**聖者と科学者は何が違う**

聖者と科学者は何が違いますか？聖典のいうこと、真理について何が違いますか？

物質的な科学者（Material Scientist）とは普通の科学者のことです。

霊的な科学者（Spiritual Scientist）は、シュカ・デーヴァやジャナカ、クリシュナ、イエス、お釈迦様、シュリー・ラーマクリシュナ、ヴィヴェーカーナンダのことです。

霊的な科学者は、霊について正しいか正しくないか調べています。

物質的な科学者は、宇宙は絶対ありますと考えて、現象についていろいろ調べています。

霊的な科学者は、宇宙があるかないか調べています。質問して検査して調べて結論は、本当は実在ではないです。

物質的な科学者と霊的な科学者の調べる内容は基礎的に違います。霊的な科学者の考えでは、みんな別々に観えますけど、本当はブラフマン、アヴィバクタムです。すべてはブラフマンだけです。ではどうして人間と人間、人間と物、人間と動物、動物と動物、神と神、みんな別々に見えますか？

それの原因は、霊的な無知、マーヤーです。霊的な無知とマーヤーは一緒です。マーヤーの影響で我々は名前、形、真理に名前と形を重ねあわせています。

ブラフマン、純粋な意識にマーヤーの影響で重ね合わせて別々に見えています。

本当はブラフマン以外なにもない、それが悟り、サマーディ（三昧）。

サマーディの結果でそのことが本当に理解できます。

サマーディの結果で名前、形、行動、性質が全部消えます。深い睡眠のときも何も見ないです。病気の結果で無意識になることがあります。また、治療や手術の時、クロロホルム麻酔を使った時も消えますが、それと悟りは何が違いますか？

例えば、寝る前私いますが、睡眠の時は何も見えない、ですけれども起きた後は、また別々にみえます。

それとサマーディは何が違いますか？

サマーディの後、その結果、別々に見えますけどシャドウ（影）みたい。シャドウは実在ではないのでシャドウは正しくないです。シャドウは感情はないので、お腹すかない、執着はない、嫌悪はないです。

悟った人は、悟りのあと、全部その宇宙は影みたい、本当に実在ではない、そのイメージがずっと続いています。

サマットヴァム ヨーガ ウッチャテ (samatwam yoga ucyate)： 心はいつも同じ、静かな心

（2章48節）

その方（悟った人）も外からみますと、時々怒っています、愛しています、そのように見えます。ですけれども、全部は本当の怒りではない、本当の執着ではない、本当の欲張りはないです。ただそのように見えるだけです。我々の怒りは中から出ていますが、悟った人は中から怒りは出ないです。

シュリー・ラーマクリシュナは１つ例を使いました。鉄で作った武器、剣（つるぎ）や包丁で人を殺すことできます。もし特別なやり方でその種類の武器が金になると、金の武器で暴力、人を殺すことはできないです。普通の人と悟った人は何が違うか、説明のためにその例を使いました。

アヴィバクタム：同じものですけど別々に見えます。

（18章20節）206ページ

*あらゆる存在の中に不滅の一者が実在することを知り、無数の異なる形に分かれているものの中に、分けられざる一者が存在することを見る知識、それは、サットワ的知識である。//18-20*

その中にアヴィバクタムあります。

*あらゆるものの中に、色々違った種類があり、それぞれ別々のものとして存在していると見る知識、それは、ラジュス的知識である。//18-21*

ラジャス的知識の結果は、あの人の魂は別、私の魂は別、その方の魂は別、ヴィバクタム、みんな別々です。サットワ的知識の結果は、皆さんを愛します、という普遍的な愛です。

ヴィバクタムの結果は執着と嫌悪、苦しみ悲しみ、好き嫌い、あの人大好き大嫌い、仲良し仲良しでない、仲間仲間でない、自分の国の人、宗教の人、区別して最終的に喧嘩や暴力です。そこまで考えてください。ラジャス的な知識だけではわからないです。結果のことを考えてください。サットワ的知識は何？考えて理解する。結果は何？考えて理解する。ラジャス的知識は何？考えて理解する。そして結果は何？と、そこまで理解しないとわからないです。

それでは、タマスは何ですか？バガヴァッド・ギーターのその説明はとてもおもしろいです。

*一部分をあたかも全てであるかのように、理由も根拠もなく思い込んでしまう知識、それは、タマス的知識である。//18-22*

例えば、あるお寺のある像にだけ神様はいて他のお寺に神様いない、それがタマス的知識です。

例えば、クリシュナだけ正しい、ラーマだけ正しい、イエスだけ正しい、お釈迦様だけ正しい、ラーマクリシュナだけ正しい、それが本当はタマス的知識です。

ラジャス的知識は、ラーマも神様ですけど、クリシュナも神様ですけど、イエスも神様ですけど、みんな別々です。

サットワ的知識は、真理は１つだけ。同じ存在の、現れ（姿）だけ違う同じ神様。みんな神様の化身で、同じ神様の現れが違うだけです。

（マハラジが歌を歌う）

例えば水は、アクア、ウォーター、パニー、ジョルと場所によって名前が違います。ですけれども、同じ水です。そのようにアラー、ゴッド、イシャー、ムシャー、カーリー、神の呼び方、名前だけ違う、それがシュリー・ラーマクリシュナの教えです。

それがサットワ的な知識です。皆H2Oエッチツーオー、水です。アクア、ウォーター、パニー、

スペイン語ではアグア、中国語でシュエイです。けれども、同じ水です。

13章-17節 165ページ

アヴィバクタム　チャ　ブーテーシュ　ヴィバクタム　イヴァ　チャ　スティタム/ブータ・バルトリ　チャ　タト　ジュネーヤン　グラシシュヌ　プラバヴィシュヌ　チャ//13-17

*それ（ブラフマン）は、完全に一なる存在なのに、あたかも個々に分かれて存在するかのように見え、万生万物の維持者であるのに、一切（すべて）を絶滅したり、創造したりしてもいる。//13-17*

ブータ・バルトリ：すべてのものを維持をする

どのようにすべての生き物を維持をしてますか？お父さん、お母さんが維持をしますはわかりますが、神様はどのように維持をしますか？

例えば、すべての生き物は空気がなかったら生きることができませんが、空気は人間がつくっていません。水も人間がつくってません。太陽も、土も人間が作っていません。

とても基礎的なもの、それがなかったら生きることできないでしょう？

マクロレベルでは自然、水、空気、光ですが、ミクロレベルで、神様はどのように維持をしていますか？これはおもしろい質問です。

（参加者）プラーナ

（参加者）心臓を動かしている、ハート

（参加者）プラーナと欲望がないと体を捨ててしまうので欲望をあたえて生きさせています。

私の答えはもっとストレートです。お母さんお父さんはどなたが維持をしていますか？お母さんお父さんはどなたが作っていますか？お母さんお父さんの愛は、どなたがインプットしていますか？お母さんお父さんは、間違えて「私の愛」と考えていますけれど、お母さんの母乳はどなたが作ってますか？自分で作っていますか？神様でないですか？

ミクロレベルの考えでは、神様が維持しています。

神の創造を続けるために、お父さんお母さんに愛を入れています。母乳も、神様が前から準備していて、子供が生まれますとそれを育てるために使います。全部神様のもので、本当は自分のものは何もないと考えると執着なくなります。ですけれども、それを忘れますと執着、うぬぼれが出ます。これが深い意味です。

ブータ・バルトリ：維持をする

プラバ・ヴィシュヌ：創造する

最初の段階は、神様は創造します。お父さん、お母さんも神様が創造します。ブラフマンからプラクリティ、プラクリティから5つの要素が出て、生き物が出ます。

グラシシュヌ：絶滅する

本当の翻訳は「溶かして最初の状態に戻す」という意味です。本当は破壊はできない。

物は変化できますが、減らすことも増やすこともできない物は、いつも同じで、状態が変化しています。例えば、ガスから水ができて、水から氷、またガスに戻ります。

微妙から粗大、粗大から精妙に変わります。ですから破壊ではないです。

pra-layaプラ・ラーヤ：とても偉大な１つになる

pra：接頭辞。とても。とても完璧。とても偉大。

laya：あるものが別のものと１つになる。

１つの物からたくさんの物が出て、たくさんの物から１つのものに戻ります。１つものはブラフマン、たくさんの物は宇宙です。そしてまたブラフマンに戻ります。



one to many , many to one ずーと続きます。

one がブラフマン、many が宇宙

直線ではなく、円、サークルのように

ブラフマンから宇宙、宇宙からブラフマンと続きます。

翻訳は「絶滅（破壊）する」ですが、無くなってはいないです。精妙から粗大、粗大から精妙。　ガスは見えないですが、精妙なガスからできた水、粗大な水は見えるでしょう？精妙なものは変化しなくて、粗大的なものは変化します。例えば水を混ぜますと変化しますが、酸素と水素は混ぜても変わらないです。粗大的になりますと変化して、形、名前いろいろ変わりますが、一番精妙なものは変わらないです。

酸素と水素の例を使いましたけど、ブラフマンの例はできません。ブラフマンの例はブラフマンだけです。

時間は何ですか？時間・空間は「心の創造（creation）」です。心がないと時間・空間もない。深い睡眠のとき心は働いていない。自分がどこに寝ているか、時間の経験もないです。

ですけれども、心が働きますと時間と空間の意識が戻ります。時間と空間は永遠ではないです。

サマーディのときも同じです。サマーディに入りますとはっきり理解し、サマーディのとき知識を持ち続けています。

時間と空間は心の創造ですから、サマーディの時、心は無くなって魂意識になります。

ブラフマンは、創造してます→維持をしています→自分の状態に戻ります。

それについて聖典の中で例を使っていて、とてもヴェーダンタの中で有名な例です。

１つ有名な例は、縄と蛇の例がありますが、もう１つあります。

yatha urnanavi srijata grinhate cha

yatha：例えば

urnanavi：蜘蛛

srijata：創造してます

grinhate cha：引き戻しています

ムンダカ・ウパニシャッド「蜘蛛から糸が出てまた吸い込まれるように」８７ページ　註１)

蜘蛛は、巣を自分の中から出した糸で作っていますが、鳥の巣は、あちこちから葉っぱとかいろいろ持ってきて作っています。鳥の中で、巣を作るのが一番下手な鳥、皆さん知っていますか？

（参加者）カッコウ

カッコウは自分で作っていない、後で言います。

カラスです、インターネットで出ていますが一番下手です。

カッコウは、だまってカラスの巣に卵を生んで、カラスはわからないですから子供を育てますが、子供が大きくなるとカラスでないとわかるので子供は殺されるので逃げます。

インドでは、とっても巣を作るのがうまい鳥がいます。

蜘蛛の巣は中から出ます。そのように宇宙はブラフマンから出ます。

本当の知識は悟らないと出ません。頭で理解しただけですと、安定しません。外に出ますとすぐ忘れます。

みんな別々別々、執着と嫌悪、苦しみ悲しみ、それでみんな困りますので、実践して理解してください。

註１)参考文献

日本ヴェーダンタ協会「ウパニシャッド改訂版」日本ヴェーダンタ協会2016年 改訂版初版発行